

表 アクションプランにおける主要な取り組み

項目	内容
スマートチャージがEVドライバーにとって手頃で便利な選択肢となるようにすること	・政府はOfgemとともに、2023年から顧客へのスマートチャージに関する情報提供を改善するために産業界と協力する。 ・政府とOfgemは、V2Xエネルギーを含むスマートチャージの普及レベルによる電気料金の単価削減に関するエビデンスを共有、2023年からの政策に活用する。 ・政府は、2024年にEV充電の消費者サービスに関し、自主的な適正基準を施行し、2025年までにその普及をモニタリングするよう業界を支援する。
EVスマートチャージ製品に適切なビジネス環境を提供すること	・政府は、すべての個人用（企業向け含む）EV充電ポイントが、安全かつデマンドサイドレスポンス（DSR）サービスプロバイダと相互運用可能であることを確認し、消費者が安心してあらゆるスマートタリフとDSRサービスにアクセスできるようにする。 ・政府は、公共でのスマートチャージの技術的・経済的可能性を調査し、長時間の公共充電環境における障壁に対処する。 ・政府は、V2Xイノベーションプログラムを実施し、2025年までにこの技術の大規模展開への障壁に対処する。
EVスマートチャージに対応したエネルギーシステム	・政府、Ofgem、産業界は、スマート公共充電と急速公共充電の相対的なコストと便益を理解するためのエビデンスを構築する。これには、エネルギーシステムのコスト、二酸化炭素排出量、潜在的な充電コストの定量化が含まれ、将来の政策の方向性に反映させる。 ・Ofgemは、エネルギーネットワーク協会（ENA）を通じて配電ネットワーク事業者と協力し、あらゆる低炭素技術の効率的な接続プロセスに対するインセンティブに基づき、すべての地域にV2Xに対する一貫した接続プロセスが確保されるようにする。 ・Ofgemと政府は、革新的な新しいスマートチャージ製品およびサービスの開発と普及にどのような障壁が存在し得るかを検討し評価する。

（出所）「Electric Vehicle Smart Charging Action Plan」からジェトロ作成